



アドビシステムズ社、 Adobe Scene7 プラットフォームのアップデートを発表 クロスメディアの配信プラットフォーム自動化を推進

**アセットマネジメントとワークフローを強化
ビデオの加工やプリセットフレームワークを活用した個別のプリント素材の提供を通じ、
データに基づくパブリッシングをさらに拡張**

【2010年4月7日】

Adobe Systems Incorporated (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は、e-コマース事業者およびマルチチャンネルを使ってマーケティングをおこなう企業のためのクロスメディア配信プラットフォームである Adobe® Scene7® のアップデートを発表しました。これにより、Adobe Scene7 のプラットフォームを拡張し、動的なクリエイティブメディアの制作、管理、および配信のさらなる自動化を実現します。バージョンアップで Adobe AIR® (Adobe Integrated Runtime) デスクトップアプリケーションの利用が可能になったことで、ユーザーはリッチメディアの編集・加工をデスクトップ上で実行できます。また、プリセットを活用するためのフレームワークを提供します。

今回のアップデートでは、Scene7 プラットフォームに Web ベースの配信プラットフォームと連動する Adobe AIR デスクトップアプリケーションが加わりました。これによりドラッグアンドドロップでデスクトップ上やネットワーク上のファイルやフォルダーを容易にアップロードできるようになり、アセットマネジメントの合理化を促進します。さらに、本プラットフォームで Adobe XMP メタデータ規格をサポートしたことで、アセットを効率的に管理、ブラウズ/フィルター、および検索することができるようになりました。また、マルチメディアのセットにルールベースのバッチ自動化を適用できるようになり、カスタムスクリプトやテクノロジーに詳しくないユーザーにとっても使い勝手が良くなりました。

アドビシステムズ社デジタルイメージングおよびリッチメディアソリューション担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャのダグ マック (Doug Mack) は「企業は常に、さらにリッチかつパーソナライズされたエクスペリエンスを、従来通りか、より少ないクリエイティブスタッフおよびテクニカルスタッフで実現する必要性に迫られているため、戦略的な自動化とコスト節減が重要です。今回の Adobe Scene7 の最新アップデートでは、ユーザーがデスクトップツールから離れずにすむようになるうえ、データと紐づいたプリセットフレームワークを用いる手法を増やすことで、パーソナライズおよびターゲティングされた動的コンテンツ配信を可能にする高性能で使いやすいサービスを提供しています」と述べています。

この新しいプリセットを活用するためのフレームワークの追加により、ユーザーはテンプレ

レートに基づくビデオクリップを動的に圧縮し、顧客のニーズに沿ったプロモーションビデオ、ターゲットを絞った動画広告、および標準化された企業ビデオをコスト効率良く作成できるようになります。またこのアップデートでは、変数を含めてページ内で、複数のページにまたがって動的にテキストを流し込むことのできるプリントプリセットフレームワークのデザイン、配信、およびWebプレビューがサポートされました。このプリセットフレームワーク強化により、マルチページの大量のテキストを含むパーソナライズされたパブリケーションがより幅広く可能になりました。

アンダーアーマー社では、e- コマース Web サイトへのすべての動的メディアのパブリッシングに AIR デスクトップバージョンを含む Scene7 プラットフォームを採用しています。同社の技術インフラストラクチャ担当ディレクター、ブライアン マクマナス (Brian McManus) 氏は「今回の Adobe Scene7 の新機能追加を喜ばしく思っています。自動化の強化によってバックオフィスのワークフロー合理化がさらに可能になり、社員が戦略的業務により集中できるようになりました」と述べています。

提供言語と価格

この Adobe Scene7 プラットフォームのアップデートは、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、および日本語の 5 か国語で提供されます。価格は、個別見積りで、階層的設定となっています。詳細は、www.scene7.com/jp から、お問い合わせください。

Adobe Scene7 について

Adobe Scene7 は、世界中の e- コマースおよび統合型マーケティングを展開する企業が、顧客を惹き付け、オンライン ビジネスを拡大するリッチ コンテンツ 配信 ソリューションです。Adobe Scene7 ソリューションは QVC、Harrods、Macy's、Amazon、Office Depot、Polo Ralph Lauren、La-Z-Boy、Lands'End、Blockbuster、Williams-Sonoma、および Levi Strauss & Co. を含む大手企業に使用されています。Adobe Scene7 クロスメディア配信プラットフォームの詳細については <http://www.scene7.com/jp/> をご覧ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。